

JOTA / JOTIで挑戦できる進歩項目

- 注：・**朱記が関連進歩項目です。青ゴシック文字が解説です。**
・**JOTA/JOTI 行事に該当しない項目も、各項目が理解できるように完全に抹消しないで見え消しにしております。**

ビーバースカウト

木の葉章課目 社会



7 よその国の話を聞く。

(JOTA / JOTI当日に、外国のスカウト、指導者からメールと音声を聴いたり、外国のホームページを見たりして外国の話しを聞く事が出来、取得認定できます。)

カブスカウト

修得課目 うさぎの課程 4. 社会生活 (3) 世界の国々



ア 10か国以上の国名を知る。

(JOTA / JOTI当日、会場に用意されている世界地図で10か国以上国名が言えれば取得認定できます。)

イ 指導者から、世界の国々についての話を聞く。

(JOTA / JOTI当日に、外国のスカウト、指導者からメールと音声を聴いたり外国のホームページを見たりして外国の話しを聞く事が出来、取得認定できます。)

修得課目 しかの課程 4. 社会生活 (3) 世界の国々



ア 15か国以上の国名を知り、世界地図でそれらの国の位置を示すことができる。

(JOTA / JOTI当日、会場に用意されている世界地図で15か国以上の国を示すことができれば取得認定できます。)

イ 指導者から、世界のスカウト活動についての話を聞く。

(JOTA / JOTI当日に、外国のスカウト、指導者からメールと音声を聴いたり外国のホームページを見たりして世界のスカウト活動の話しを聞く事が出来、取得認定できます。)

修得課目 くまの課程 4. 社会生活 (3) 世界の国々



ア 5か国以上の外国のかんたんなあいさつの言葉を覚えて使ってみる。

(JOTA / JOTI当日に、実際に外国のスカウト、指導者と話しをしてかんたんなあいさつを使うことにより取得認定できます。)

~~イ 日常生活の食べ物で、外国から輸入されているものを調べる。~~

選択科目(チャレンジ章) 3. 技術

(2)コンピュータ博士



~~ア コンピュータがどんなことで使われているかを調べる。~~

イ コンピュータやワープロを使って、手紙文や作文などを打つことができる。

(JOTA / JOTI掲示板に書込んだ事で取得認定できます。)

~~ウ コンピュータに関係のある用語を調べる。~~

(10) 特技博士

ア 次のもののうち資格か級を持っていること。

アマチュア無線 珠算 書道 囲碁 将棋 柔道 剣道 空手 合気道
弓道 少林寺拳法など

(JOTA / JOTIで、実際に運用することが出来ます。)



ボーイスカウト 選択課目(ターゲットバッジ、マスターバッジ)

A6 世界友情

~~1 15か国以上の外国旗及び5種類以上の外国スカウト章を見分ける。~~

~~2 アジアの国、地域にあるスカウト連盟について調べ、地図上で示し説明する。~~

3 外国青年少年と文通(**電子メールを含む**)をする。またはジャンボリーや海外派遣等で外国のスカウトと交流を行う。

(JOTA / JOTI当日に、交流相手を見つける事ができます。)

~~4 姉妹都市または自分が興味を持っている国や都市の地理、生活、文化等について調べ、班または隊集会で話す。~~

5 外国のスカウトの「おきて」を調べる。**できれば海外からのスカウトまたは指導者に直接教えてもらう。**

(JOTA / JOTI当日に、外国のスカウト、指導者からメールと音声により教えてもらえます。)

~~6 スカウトの「世界友情の日」について調べ、「世界友情」をテーマにした活動を考え実施する~~



B7 外国語

1 外国語で自分のこと(趣味、興味、学校、友人など)を紹介する。

(事前に準備をしておけば、JOTA / JOTI当日に、外国のスカウト、指導者にメールと音声で紹介できます。)

~~2 外国語の歌を1曲以上覚え、集会で紹介する。~~

~~3 スカウト活動中によく使う言葉や単語を外国語で何とつか比較表を作る。~~

4 物、写真、歌などを使って自分の住んでいる地域や日本の文化を外国語、手振り、身振りなどで紹介する。

(事前に準備をしておけば、JOTA / JOTI当日に、外国のスカウト、指導者にメール、映像、音声で紹介できます。)

5 スカウトの「おきて」を外国語で言う。

(JOTA / JOTI当日に、外国のスカウト、指導者からメールと音声により教えてもらえます。)

~~6 外国語で手紙を書くか、得意な野外料理の作り方を外国語で書く。~~



D3 通信

~~1 片かな手旗信号で簡単な通信文を送受信する。~~

~~2 救助信号の種類と使い方を説明する。~~

3 野外活動において使用する無線通信機器の正しい使用方法とマナーを説明する。

(JOTA / JOTI当日に、特定小電力トランシーバーの使用法とマナーを理解し実際に使用して交信の経験ができたスカウトに対して習得認定ができます。)

~~4 追跡信号を10種以上覚える。~~

~~5 隊または班ハイキングで、自然物を利用した追跡記号を約2kmの間に通信文を含めて配置する。~~

6 野外活動において光や音を利用した通信手段を考え、**モールス信号**等により通信する。

(JOTA / JOTI当日に、モールス練習機で実際にモールス通信の体験が出来ます。)



ボーイスカウト & ベンチャースカウト 技能章一覧



11.世界友情章

- ~~(1) スカウト運動の始まりを簡単に述べ、世界事務局へ登録している国々を30か国以上、地図上で示すこと。~~
- ~~(2) 次のことからについて研究し、簡単な報告書を提出すること。
ア 5か国以上の外国の地理、歴史、民族および文化
イ 3人以上の外国の国家的英雄、偉人
ウ 国連憲法と世界人権宣言の主旨
エ 国連の組織、機構、機能及びおもな活動~~
- ~~(3) 15か国以上の外国旗を描き、その各々の制定の由来、象徴されている精神などについて、簡単に報告すること。~~
- (4) 5か国以上の外国スカウト章を描くか、または収集して提示すること。
(JOTA/JOTI当日に、探し方をみつける事ができる。)**
- (5) 外国スカウトと外国語で3か月以上、文通し、相互理解と友情の促進に努力し、3回以上便りのやりとりがあること。(さしつかえないかぎり、便りを考査時に提示する)
(JOTA/JOTI当日に、交流相手を見つけたらいい事がある。)**
- ~~(6) 上記(5)の外国語について、興味あることからをテーマにして資料を収集し、研究結果を簡単に報告すること。~~
- ~~(7) スカウトとして、世界友情にどのように役立つことができるかにつき、自分の考えを簡単にまとめ提出すること。~~



37.信号章

- ~~(1) 手旗信号法を知り、野外の150m以上、離れた2点間で正しい交信符号と手順を用いて、数字を含む150字の通信文を1分間35字の速度で発受し10字以上を誤らぬこと。~~
- ~~(2) 任意の通信器具を自作し、実演すること。~~
- (3) 無線装置(トランシーバーなどの簡易無線、アマチュア無線などを含む)、携帯電話(メール交信も含めて)などの機能を説明し、正しい交信方法を実演できること。
(JOTA/JOTI当日に、特定小電力トランシーバーを実際に使用して交信の経験ができたスカウトに対して習得認定ができます。)**
- ~~(4) 次の信号の内、2種以上の信号内容を選択し理解し得ること。
道路標識、交通信号機、鉄道信号、航路標識、霧中信号~~
- ~~(5) 防災時における非常サイレンの内容を理解し得ること。~~



51.無線通信章

- (1) アマチュア無線技士の資格があること。**
- (2) 和文通話表により、電文を送話できるとともに、欧文通話表を用いてアルファベットの言えること。
(JOTA/JOTI当日に交信中に使用できれば習得認定ができます。)**
- (3) 国内10局以上の交信記録と交信証(QSLカード)5枚以上を提示すること。
注:社団局発行のカードには、従事者名(オペレーター)が明記されていること。
(JOTA/JOTI当日に10局以上交信すれば習得認定ができます。
交信証5枚以上の収集は、確かに交信したという証明資料ですので、JOTA会場でスタッフが立会で交信したものについては交信証5枚以上の収集ができてなくても習得認定ができます。)**